

調査等事項報告（団体報告：改革クラブ）

視察先	NPO法人 袖崎雪室研究会														
視察日時	平成30年2月16日午後1:00~2:00														
視察項目	「雪」を利用する低温貯蔵施設														
視察者	改革クラブ（菊池大二郎、菊池貞好、結城 正、犬飼 司）														
報告者	犬飼 司														
視察の目的	雪は、邪魔者でもあり天の恵みでもある。雪に対する偏見は三者三様である。この雪を大いに利用し、農産物の低温貯蔵や冷房の冷熱エネルギーとして北は北海道、南は鳥取県まで123施設（平成24年3月現在）で実施している。その中で袖崎雪室施設について、取組みの現状、課題等について視察を行う。														
施設の概要	<table border="0"> <tr> <td>1、設置場所：村山市大字土生田2813-27</td> <td>7、貯雪庫：床面積200㎡ 間口10m</td> </tr> <tr> <td>2、事業費：1億2,230万円</td> <td>奥行20m 高さ5.8m 400t</td> </tr> <tr> <td>3、敷地面積：3,970㎡</td> <td>8、①貯蔵庫：205.8㎡</td> </tr> <tr> <td>4、建築面積：511.88㎡</td> <td>②低温室（-2℃）：21.2㎡</td> </tr> <tr> <td>5、床面積：483.83㎡</td> <td>9、温度調節室面積：21.2㎡</td> </tr> <tr> <td>6、断熱材：スタイロフォーム</td> <td>10、前室面積：31.8㎡</td> </tr> <tr> <td>床t=100mm、天井、壁t=150mm</td> <td>11、貯蔵作物：米、そば など</td> </tr> </table>	1、設置場所：村山市大字土生田2813-27	7、貯雪庫：床面積200㎡ 間口10m	2、事業費：1億2,230万円	奥行20m 高さ5.8m 400t	3、敷地面積：3,970㎡	8、①貯蔵庫：205.8㎡	4、建築面積：511.88㎡	②低温室（-2℃）：21.2㎡	5、床面積：483.83㎡	9、温度調節室面積：21.2㎡	6、断熱材：スタイロフォーム	10、前室面積：31.8㎡	床t=100mm、天井、壁t=150mm	11、貯蔵作物：米、そば など
1、設置場所：村山市大字土生田2813-27	7、貯雪庫：床面積200㎡ 間口10m														
2、事業費：1億2,230万円	奥行20m 高さ5.8m 400t														
3、敷地面積：3,970㎡	8、①貯蔵庫：205.8㎡														
4、建築面積：511.88㎡	②低温室（-2℃）：21.2㎡														
5、床面積：483.83㎡	9、温度調節室面積：21.2㎡														
6、断熱材：スタイロフォーム	10、前室面積：31.8㎡														
床t=100mm、天井、壁t=150mm	11、貯蔵作物：米、そば など														
取組み内容	<p>1、雪利用による作物貯蔵の価値を見出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・400tの雪を、ブルドーザーと農業用トラクタ除雪機2台でたった三日で貯雪庫いっぱいに詰め込む。雪は、通年敷地内や近隣の市道で間に合うが、足りない場合は、さらに市道の雪を集める。農業用除雪機を使用する理由として、ブルドーザーで押し固めた場合より、飛ばして雪の結晶を密着させることにより融解速度を遅くすることが出来る。 ・雪の部屋と農産物の部屋を分け、冷気をダクトで循環するタイプ（冷気循環型）を採用している。 ・冷気を5℃にすると湿度は70%になり、貯蔵物が米の場合、水分が15%に保たれ新米と変わらない状態で、美味しさを保ちながら長期間保存が出来る。 ・作物は、低温になると凍らないように自己防衛として糖分を多くする性質（糖化現象）を利用している。また、Θイオンが発生し、雪室で貯蔵すると更においしくなる。 ・貯蔵穀物は、米、そばが主であるが、啓翁桜も貯蔵しておりました。 <p>啓翁桜は、「東京五輪で村山市産啓翁桜を咲かそう実行委員会」が企画し、東京五輪が開幕する7月に開花時期を合わせるため、桜の枝を塩ビパイプに入れて保管し、その後桜を取り出し、蛍光灯とブラックライトを照射しながら慎重に生育を管理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2,600俵を貯蔵できるが、収支は黒字に至っていない。 ・研究会貯蔵分は、高く売らなくとも全部売れば良いという考えでいる。 ・一般家庭の米は1袋500円で受け入れし、1家庭当たり10俵までとしている。 														
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型ではあるものの貯雪庫からの送風により、貯蔵庫の圧力が変化し隙間から冷気が抜けていくため、目張りが必要となっている。 ・農家からの受け入れ穀物は、取り出しやすいように平積みとなっていることから、もったいない空間が存在している。 ・高く売らなくとも全部売れば良い、利益は関係なしとは言うものの雪室の利用価値をPRし赤字脱却を考える必要があるだろう。 ・新潟県では、有機栽培で収穫したコシヒカリを、もみの状態で保管しJAL国際線のファーストクラス、ビジネスクラスで機内食として採用されている。 <p>このように、ビジネス戦略を考えていく事も必要と感じました。</p>														